

第3回 新西部水処理センター環境モニタリング委員会

議事概要

■日時：平成25年12月25日（水）13:45～15:00

■会場：福岡市西部地域交流センター（さいとびあ） 第1会議室

■出席：

鬼倉 徳雄	九州大学大学院農学研究院 助教
小野 仁	日本野鳥の会福岡支部 代表
川口 栄男	九州大学大学院農学研究院 教授
楠田 哲也	九州大学 名誉教授
下村 通誉	北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員
安井 英斉	北九州市立大学国際環境工学部 教授
山田真知子	福岡女子大学国際文理学部 教授
渡辺 亮一	福岡大学工学部 准教授

(行政側出席者)

篠田 好司	道路下水道局 下水道施設部長
崎野 寛	道路下水道局 下水道施設部 施設管理課長 (代理 吉村係長)
松隈 正憲	道路下水道局 下水道施設部 施設整備課長
石田 眞滋	道路下水道局 下水道施設部 水質管理課長
管谷 悌治	道路下水道局 下水道施設部 西部水処理センター所長 (代理 濱田係長)
工藤 修一	道路下水道局 計画部 下水道計画課長 (順不同、敬称略)

1 開会

2 挨拶 道路下水道局下水道施設整備部長

3 報告事項

(1) 人事異動に伴う行政側出席者の変更について

4 委員長の選任

- ・事務局からの推薦により委員長に楠田委員を選出した。
- ・設置要項に基づき、楠田委員長の指名により川口委員が副委員長に選出した。

5 議事

(1) 平成24年度新西部水処理センター環境監視結果（案）について

資料5に基づき、事務局より説明し、以下のような意見が出された。

<新西部水処理センター環境監視結果（案）全体>

- ・事前調査終了時（平成25年度末）に、事前調査のとりまとめを行うにあたっては、猛暑等による異常値の有無や変動が把握できるようにすること。
- ・監視結果（案）のとりまとめにあたっては、放流口のある瑞梅寺川や今津干潟、およびその周辺において、他の事業や事象がないかを確認すること。また、今後予定されている事業などについても把握しておく必要がある。

<環境監視項目 4：今津干潟および周辺の水環境>

- ・参考項目の調査方法に、溶存酸素量（DO）等の鉛直分布の測定項目・方法を追記し、調査結果に貧酸素水塊の発生状況を記載すること。
- ・今後、海域における放流水の影響を把握する上で、重要な要素は貧酸素水塊と赤潮であるため、次年度以降、海域における植物プランクトンの発生状況を調査できないかを検討すること。
- ・参考項目で測定している DO の鉛直分布において、出水による水深の変化を確認しておくこと。

<環境監視項目 5：今津干潟および周辺の生態系>

- ・貴重種の確認時期が水温が高くなる夏季のみとなっているが、魚類の貴重種は夏季よりも水温が低い時期に確認しやすい。

6 連絡事項

今年度末に新西部水処理センターの稼働を予定している。

次回の委員会については、次年度は放流開始初年度ということもあり、夏季の調査結果までを整理できた上で、平成 23 年度から平成 25 年度までの事前調査のとりまとめと比較できるような資料で議論したいと考えている。

7 閉会

以上